

薬食総発0131第1号  
平成26年1月31日

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会会長 殿

厚生労働省医薬食品局総務課長

「JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット」に対応したシステムの導入について(依頼)

医薬行政の推進につきましては、平素から、電子版のお薬手帳のデータの標準化など、格別の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

お薬手帳については、様々な利点が期待されることから、厚生労働省としても、その活用が進むよう普及啓発等を行ってまいりました。最近では、その電子版に関するモデル的な取組等も進められています。電子版のお薬手帳には、例えば、「二次元バーコード」による出力や、それを携帯電話等で読み取る作業などが必要となる一方、日常的に携帯している携帯電話等を活用するため、携行のしやすさといった利点もあると考えております。

こうした点にかんがみ、貴会におかれては、電子版お薬手帳の標準データフォーマット(JAHIS電子版お薬手帳データフォーマット)の策定及び改訂(最新版の仕様書はVer1.1)をいただき、その普及に御尽力いただいているところでございますが、現段階では、全国の大半の薬局において、患者等の希望に応じ、電子版での対応も可能な環境が整っているとはいえない状況にあると考えております。

つきましては、平成26年度の診療報酬改定における、薬局向けのレセプト作成用システムの改修等に当たって、少なくとも二次元バーコードを利用した、電子版お薬手帳の標準データフォーマットによる患者へのデータ提供が可能となる環境を整えるために、できるだけ多くの薬局への積極的な導入に取り組みいただくよう、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。また、貴会傘下企業宛てに周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。